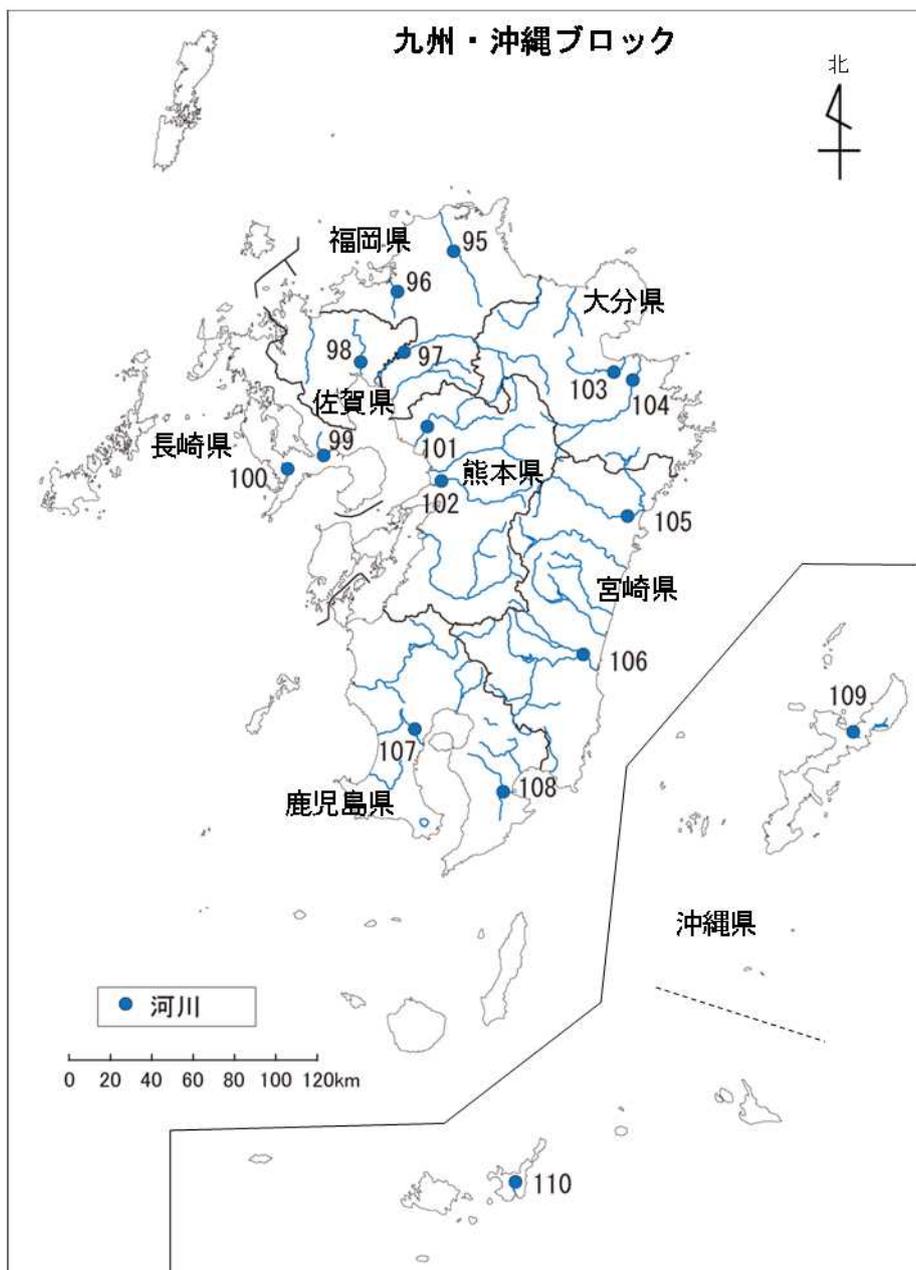
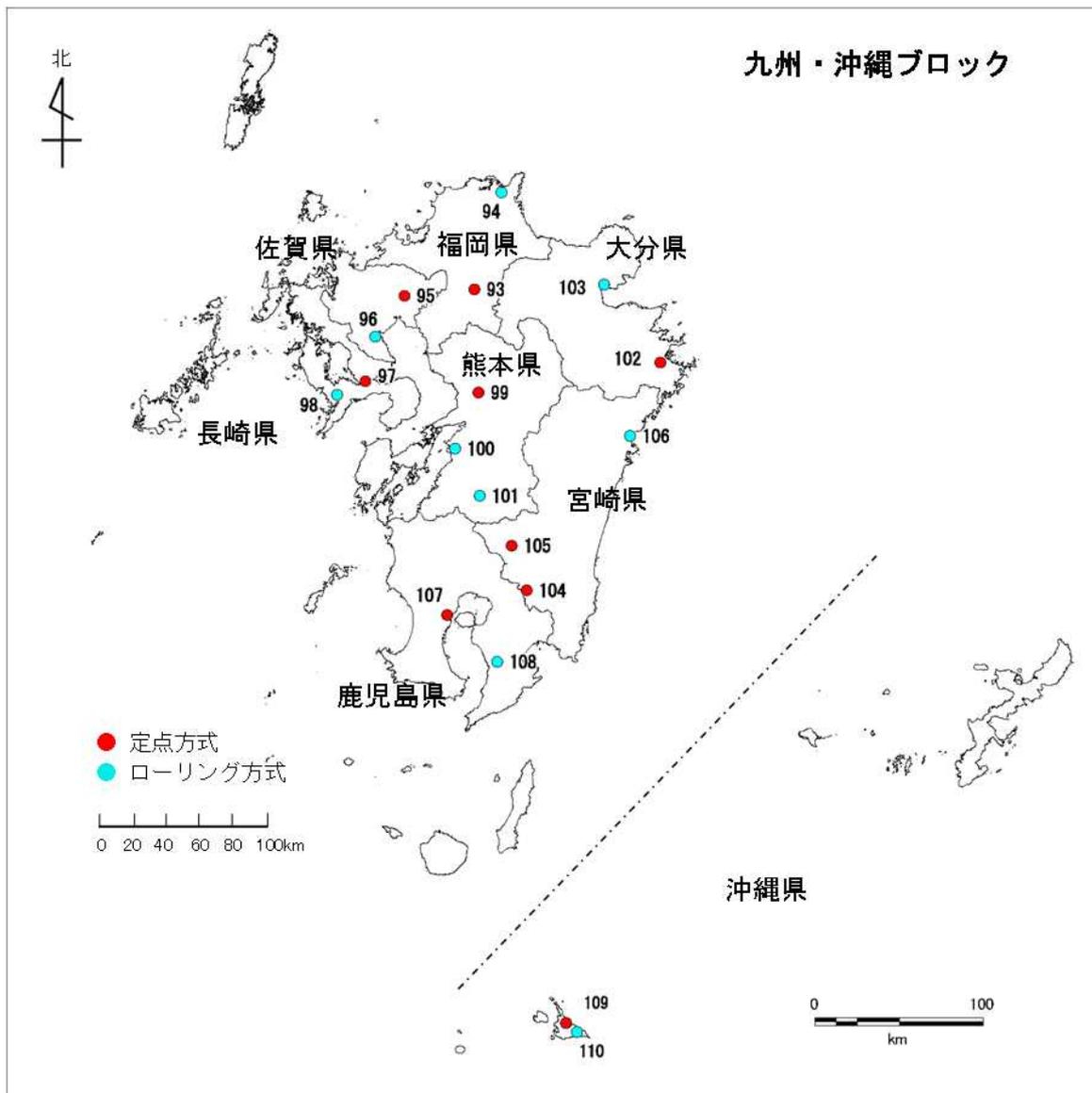


○公共用水域測定地点図



地点番号	都道府県名	属性	水域名	地点名	市町村名
95	福岡県	河川	遠賀川	日の出橋	直方市
96			那珂川	塩原橋	福岡市
97			筑後川	瀬の下	久留米市
98	佐賀県		嘉瀬川	嘉瀬橋	佐賀市
99	長崎県		本明川	天満公園前	諫早市
100			浦上川	大橋堰	長崎市
101	熊本県		菊池川	白石	和水町
102			緑川	上杉堰	熊本市
103	大分県		大分川	府内大橋	大分市
104			大野川	白滝橋	大分市
105	宮崎県		五ヶ瀬川	三輪	延岡市
106			大淀川	相生橋	宮崎市
107	鹿児島県		甲突川	岩崎橋	鹿児島市
108			肝属川	俣瀬橋	鹿屋市
109	沖縄県		源河川	取水場	名護市
110		宮良川	おもと取水場	石垣市	

○地下水測定地点図



地点番号	都道府県名	市町村名	所在地	調査区分
93	福岡県	久留米市	田主丸町秋成	定点方式
94		北九州市	小倉南区富士見	ローリング方式
95	佐賀県	佐賀市	大和町尼寺	定点方式
96		鹿島市	納富分馬場	ローリング方式
97	長崎県	諫早市	栄田町	定点方式
98		長崎市	大橋	ローリング方式
99	熊本県	熊本市	中央区水前寺	定点方式
100		八代市	古城町	ローリング方式
101		人吉市	井ノ口農蘇	ローリング方式
102	大分県	佐伯市	上岡	定点方式
103		日出町	豊岡	ローリング方式
104	宮崎県	都城市	南横市町	定点方式
105		小林市	南西方	定点方式
106		延岡市	別府町	ローリング方式
107	鹿児島県	鹿児島市	玉里町	定点方式
108		鹿屋市	田崎町	ローリング方式
109	沖縄県	宮古島市	平良東仲宗根添	定点方式
110		宮古島市	城辺	ローリング方式

調査対象放射性核種等の過去の測定値及び特徴

放射性核種等		過去の測定値(*3)			放射性核種等の特徴		
元素記号 質量数	元素記号の 読み方	公共用水域(水質)	公共用水域(底質)	地下水(水質)	カテゴリー	半減期	その他の特徴
		Bq/L	Bq/kg-乾泥	Bq/L			
Ac-228	アクチニウム	不検出～0.0061	不検出	実施事例なし	自然放射性核種 (*4)	6.18時間	トリウム系列の核種で、天然状態で岩石中等に存在する。
Be-7	ベリリウム	不検出～0.38	不検出～42	不検出～0.083		53.29日	宇宙線によって生成される核種で、主に大気中に存在する。
Bi-212	ビスマス	実施事例なし	実施事例なし	実施事例なし		60.55分	トリウム系列の核種で、天然状態で岩石中等に存在する。
Bi-214	ビスマス	不検出～0.0048	不検出～12	実施事例なし		19.9分	ウラン系列の核種で、天然状態で岩石中等に存在する他、Rn-222(気体)から生成され降水にも含まれる。
K-40	カリウム	不検出～0.96	69～780	不検出～0.41		12.77億年	地球形成過程で宇宙空間から取り込まれた核種で、天然のカリウムに対して0.0117%程度含まれる。
Pb-210	鉛	実施事例なし	実施事例なし	実施事例なし		22.3年	ウラン系列の核種で、天然状態で岩石中等に存在する。
Pb-212	鉛	0.00059～0.0023	実施事例なし	実施事例なし		10.6時間	トリウム系列の核種で、天然状態で岩石中に存在する他、Rn-220(気体)から生成され降水にも含まれる。
Pb-214	鉛	実施事例なし	実施事例なし	実施事例なし		26.8分	ウラン系列の核種で、天然状態で岩石中に存在する他、Rn-222(気体)から生成され降水にも含まれる。
Ra-226	ラジウム	不検出～0.0063	19～122	不検出～0.0146		1600年	ウラン系列の核種で、天然状態で岩石中等に存在する。
Th-234	トリウム	実施事例なし	実施事例なし	実施事例なし		24.10日	ウラン系列の核種で、天然状態で岩石中等に存在する。
Tl-208	タリウム	不検出～0.0019	実施事例なし	実施事例なし		3.05分	トリウム系列の核種で、天然状態で岩石中等に存在する。
Cs-137	セシウム	不検出～0.282	不検出～44	不検出～0.0079	人工放射性核種	30.07年	主に、原子力発電所等における核燃料の核分裂で生じる。福島第一原子力発電所事故の際、Cs-134と併せて主たる放出核種であるが、大気圏核実験後やチェルノブイリ原発事故後にも検出されている。
全β		不検出～3.1	490～1,300	不検出～0.37			種々の放射性物質から放出されるβ線(電子線)の総量を測定するもので、放射能の状況把握のために一般的に測定される項目。

(*1) 1994年度～2014年度(2011/3/11-2012/3/10は除く)の全国で実施された環境放射能水準調査及び周辺環境モニタリング調査の結果。
(*2) γ線放出核種から放出されるγ線(電磁波)のエネルギースペクトルと強さを計測。エネルギースペクトルの分布によって核種を特定することにより、核種ごとの放射性物質濃度を測定。
(*3) 「不検出」とは過去の調査の対象核種ではあるが検出値が得られなかったもの、「実施事例なし」は過去に全国的な規模で調査が実施されていない核種。
(*4) 自然放射性核種のK-40とBe-7以外は、3種類の放射性核種の壊変によって生じる一連の系列の核種で、U-238を起源核種とする「ウラン系列」、Th-232を起源核種とする「トリウム系列」、U-235を起源核種とする「アクチニウム系列」の3種類がある。その他の核種は娘核種と呼ばれ、α壊変と、β壊変を繰り返し、最終的に安定した元素(ウラン系列ではPb-206、トリウム系列ではPb-208、アクチニウム系列ではPb-207)になる。これらの放射性核種は一般に広く地殻中(岩石中)に存在する(ラドン(Rn)は気体になる)。